

INFO 01

## 第62回武庫川女子大学 体育祭を開催!

5月16日(土) 8:30~18:30 [雨天決行]

武庫川女子大学の体育祭は、一般の方も参加できる楽しいイベントをご用意。ミニゲームに参加して、ぜひ豪華景品をゲットしてください。たくさんのご来場を心からお待ちしております! 実行委員の活動や最新の情報は右記二次元コードをチェック!



INFO 03

## 駅チカ徒歩1分! 毎日のお買物は ライフ阪神鳴尾店

新鮮なお野菜や果物、種類豊富なお惣菜に焼き立てベーカリーでお出迎え。お魚売場では贅沢な「うを鮭」、お肉売場では新たに「肉寿司」もラインナップ! インスタグラム発信中、便利でお得なライフアプリもご活用ください。詳しくは、右記二次元コードをチェック!



INFO 02

## Lavy's Café 春の新メニューの提供を開始!

香りと味わいにこだわったオリジナルフレーバーアイ스티ーが加わり、気分に合わせて選ぶ楽しさを。あわせて、ゆったり過ごせるティータイムセットも登場。春の午後に、心ほどこけるひとときをお届け。



メニュー紹介や最新情報など発信中!



友だち限定でお得なクーポン配信します!



INFO 04

## 武庫川団地「赤胴車のある広場」で 赤胴車マルシェを開催!

5月17日(日) 10:00~16:00 [雨天決行]

ふれあい動物園やハンドメイドコーナー、鉄道グッズ販売、キッチンカー、ワークショップ、ステージなどこどもから大人まで楽しめるコンテンツが盛りだくさん! メルカードむこがわでは、こどもフェスタも同時開催! みなさま、ぜひお越しください。



主催: 赤胴車マルシェ実行委員会

詳細・お問い合わせ先等は、二次元コードから各情報の関連ページをご覧ください。

## ランチ 第12回 どこ行く?

タイ料理 ガイヤーンズ



私たちが取材しました!



(左から)武庫川女子大学 食物栄養学科 大北さん、大西さん



鳴尾・武庫川女子大前駅から徒歩4分。閑静な住宅街の中にある日本初のタイ料理のファストフード店・ガイヤーンスを取材しました。お店の名前にもなっているガイヤーンとは、タイ北部の郷土料理で、鶏肉の炭火焼き料理です。

今回はガイヤーン、ガバオ、ガイトム(茹で鶏)の3種類から1品を選択できる「Aランチ」950円と2品を選択できる「Bランチ」1,250円

をいただきました。ガイヤーンは香ばしい匂いで鶏肉の旨味をしっかりと感じられる一品。ガバオはバジルの爽やかさと唐辛子の辛味が絶妙にマッチしていました。ガイトムは鶏のだしが感じられる優しい味わいでした。お米はタイ米、目玉焼きが乗っており、スープ、サラダもついて満足度の高いランチです。本場のタイ料理を身近に味わえる「ガイヤーンス」にぜひ一度足を運んでみてください!

読者サービス!

「なるお通信」をご提示いただくとドリンク1杯無料。  
※アルコール、ヨーグルトシェイクは除く(2026年8月末まで)

ガイヤーンス

西宮市里中町2丁目4-15 TEL.0798-20-6343 【営業時間】月・火曜は11:00~14:00、水・金・土曜は11:00~14:00、17:00~20:00 / 木曜休  
※お店の都合によって、ランチ時間の変更や定休日以外も店休日となる可能性があります。



なるお通信配布場所/阪神電車各駅、武庫川女子大学、Lavy's Café、みなと銀行鳴尾支店、ライフ阪神鳴尾店、西宮市鳴尾支所・高須分室、なるお会館ほか  
(配布にご協力いただける場合は阪神ステーションネットまでご連絡ください。)

なるお通信 Vol.12 (2026年春号)

発行 鳴尾エリアマネジメント連絡会

(株)阪神ステーションネット/阪神電気鉄道(株)/ (株)みなと銀行/ (株)武庫川学院/ (株)ライフインベーション/ (株)ライフコーポレーション(50音順)  
制作 (株)阪神ステーションネット 大阪市福島区海老江1-1-31 ☎06-6347-6601

※なるお通信に関するお問い合わせ・情報提供は阪神ステーションネットまで。  
※記載の価格には消費税が含まれています。



※なるお通信のバックナンバーをご覧ください。

※本紙に掲載した施設・店舗については、予告なく閉館・営業時間・料金・定休日・イベントの開催時期・内容などが変更される場合があります。また、イベントが予告なく中止される場合がありますので、予めご了承ください。

Mukojoがある街を知る

# NARUO TSU-SHIN

なるお通信

世代も立場もこえて学び合える空間



鳴尾エリアマネジメント連絡会の地域活性化への取り組みが評価され、「2022年度グッドデザイン賞」を受賞しました。



GOOD DESIGN AWARD 2022年度受賞

2024年、年齢や立場に関係なく「学びたい」と思った人が気軽に講座を受けられる「まちがく」が西宮に誕生しました。西宮の街全体をキャンパスと見立てるまちがくでは、10代から80代まで多世代の人々が学びを通じてつながりあい、これまでにない仲間を作る場としても機能しています。校長の田村さんへのインタビューを行い、設立のきっかけや、まちがくの運営の仕組みについて詳しく迫ります。

女子総合大学で学生数日本一 Mukojoがある街を知る

なるお通信とは...

鳴尾エリアマネジメント連絡会が発行する、鳴尾に住む人も、住んでいない人も、思わず出かけたくなる鳴尾の魅力を発信するミニコミ誌

# 世代も立場もこえて学び合える空間



NPO法人なごみ まちがく校長  
たむら ゆきひろ  
**田村幸大**さん

西宮市生涯学習・地域づくりコーディネーターとして、地域・行政・大学・企業など様々な機関と人が分野や世代をこえてつながる場作りに取り組んでいる。

## 「学びたい」という思いから生まれる新しいまちづくり

小学生からご年配の方まで年齢の垣根なく講座を受けられ、「学びたい・知りたい」という思いから新しい講座が生まれる。そんな画期的な学校「まちがく」が2024年、西宮に誕生しました。講座の内容は生成AIを使った音楽制作や、消防設備士さんによる防災の講座など多種多様。受講料を支払えば誰でもどの講座にも参加できますが、入学費を払って入学すれば1年間講座が受け放題になり、「こんな講座があったらいいな」と感じた時には、講座をリクエストすることもできます。講座の内容はまちがくの企画チームが検討しますが、生徒からの希望で生まれる講座もたくさんあり、生徒たちの活動によって同時多発的に学びの場が展開されています。

校長の田村さんは、「まちがく」をつくったきっかけについてこう語ります。「最初は学校の教師に憧れ、大学生の時にボランティアや学習支援などを通して教育現場に関わってみました。しかし、学びに点数がつき、みんなで同じことを学ばなければならない日本の教育に、窮屈さを感じたんです。その窮屈さを解決するには、教師になって学校の中から改革するか、学校の外からアクションを起こすか

のどちらかだと私は考えました。いろいろと模索した結果、街の中で世代・分野・立場の違う人たちが一緒に学び合い、その学びによって街や学校にも良い影響を与えられる。そんな“まち全部を学校にする”構想を実現しようと思ったことが、『まちがく』の原点です。」

「まちがく」の興味深いところは、生徒からの受講料だけでなく、30社以上の地元企業・団体などからの協働スポンサー収入によっても運営が支えられている点です。スポンサー収入があることで、生徒は受講しやすい価格で講座を受けることができます。また企業側も、単に広告を出すだけでなく、研修の一環として従業員が講座を企画したり、他社が企画した授業に参加して学んだりすることができます。こうして、運営・生徒・企業の間でWin-Winの関係が築かれています。

開校から2年が経過し、これまでに集まった生徒は約350名。世代も立場も関係なく、「学びたい」という意欲で集まった人々は、学びを通じて深く結びつき、西宮の街は「活気ある学び合いの街」へと変化しつつあります。



まちcafeなごみ

まちがく  
(運営/NPO法人なごみ)  
西宮市東鳴尾町2-16-19  
TEL.0798-20-2333



ホームページ



Instagram

まちがく



## まちがく講座 紹介

「まちがく」には個性あふれる講座が盛りだくさん。中でも好評だった講座をご紹介します。



### 大学生から「留学」の話を聞こう

2026年2月3日、兵庫県立鳴尾高等学校にて、海外留学を経験した関西学院大学の学生が、鳴尾高校の国際文化情報学科の1年生に向けて留学の体験談を伝える講座が行われました。はじめは緊張していた高校生たちも、大学生が生き活きと経験を語る姿に触発され、途中からは「留学にはいくらかかるんですか?」「語学は上達しましたか?」「行くまでにはどんな準備が必要ですか?」と、熱心に質問を行いました。歳の近い関係だからこそ伝わるメッセージもあり、交流は活気に満ちたものとなりました。



### まちすぐろく～まちすぐ～

「西宮出身の著名人はどんな人がいますか?」や『まちがく』の協働スポンサー『阪神園芸』さんが運営している公園は次のうちどれ?といった、西宮の街やまちがくについての問題がマス目に記載されたすぐろく「まちすぐ」を参加者同士で遊びました。まちすぐで遊んだ後は、すぐろくに登場した地域課題について何ができるかを考えるグループワークを行い、地域の問題を自分事として考えるきっかけを作りました。

ほかにも多彩な講座が盛りだくさん! 講座レポートもぜひチェックしてみてください

まちがく 講座レポート



## まちがくのご案内



「まちがく」では、4月にマナビサポーター(※)を含む授業企画チームが1年の授業内容を検討します。授業の企画から参加したい方は4月以降の入学がおすすめ。さらに7月には26年度の授業が開講予定。とりえず1回参加してみたいという方は、単発での受講も可能です。ぜひ一度参加してみては。

※年齢関係なく、有志の方で構成された、まちがくの授業づくりを行うメンバー

## まちがく 6つのポイント

<p><b>人</b></p> <p>年齢に関係なく受講が可能。多世代で一緒に学べます。</p>	<p><b>場</b></p> <p>西宮市内、あらゆる場所が「まちがく」のキャンパスに!</p>
<p><b>授業</b></p> <p>「あったらいいな」から新しい授業が生まれる仕組みあり。</p>	<p><b>受講</b></p> <p>単発受講も年間学び放題(サブスク)受講もあり。色んな形で受講が可能です。</p>
<p><b>料金</b></p> <p>学びやすい受講料で、若者の学びを応援するプランも。</p>	<p><b>卒業</b></p> <p>まちがくに卒業はありません。1年の最後には、学んだことを共有する「全校集会」を開催。</p>

## 武庫女の先生に聞く interview

学生たちが「まちがく」のような場で多様な人々と出会い、学ぶことの意義について、経営学部の本田先生と高橋先生にお話を伺いました。



## 多様なつながりが、一步を踏み出す勇気に

誰と、どこで、どのように生きていくのかを自分なりに探していく—人生100年時代において大学は、大切な準備期間だと言えます。学生たちには様々な出会いを通して、社会を観る力を養ってほしい。そして、訪れる変化にしなやかに向き合い、自分の持ち味を発揮してほしいと願っています。

経営学部では必修科目として、1年生の夏から地域や企業、行政の現場に入る「実践学習」を行っており、インターンシップを通して課題解決に取り組み、実社会の中で学びを深めます。

たかはし まなみ  
武庫川女子大学 高橋 愛満 先生  
経営学部助手/実践学習センター  
大学ボランティアセンター職員や地域おこし協力隊、大学非常勤講師を経て、2024年9月より現職。実践学習のコーディネートを担当。



NPO法人なごみさんには2021年から学生を受け入れていただいています。学生にとって「授業をつくる」経験は初めてですが、「まちがく」にはやりたいことが形になる余白と、信頼でつながるネットワークがあります。他者の思いに触れることで意欲が引き出され、企画を通して自信を深めるという経験はきっと、一步を踏み出すときやつまずいたときの支えになると思います。これからも「まちがく」で生まれる多様なつながりによって、それぞれの暮らしがちょっと華やかに、楽しく、生きやすくなっていくことを願っています。

ほんだ かずなり  
武庫川女子大学 本田 一成 先生  
経営学部教授/ワーク&ライフ研究室  
2021年4月より現職。専門はサービス産業の労働問題。博士(経営学)。近著に『メンバーシップ型雇用とは何か』(旬報社)、『クミジョを考える』(信山社)など。

